

国道10号門川日向拡幅 長江交差点～木原交差点間（1.2km） 開通1年後の交通状況及び整備効果について

令和5年6月24日に開通しました国道10号門川日向拡幅長江交差点～木原交差点間（1.2km）の開通1年後の交通状況や整備効果をお知らせします。

■交通状況 門川日向拡幅開通1年後の交通状況

- ・混雑時の旅行速度が約18km/h向上
[開通前 18.5km/h → 開通後 36.2km/h]
- ・国道10号の交通量が約1,100台/12h増加 ⇒ 県道226号から交通が転換！
[開通前 13,250台/12h → 開通後 14,377台/12h]

■救急医療 迅速な救急医療活動を支援

- ・開通区間を利用した救急搬送時間が約3分短縮！
[開通前 緊急搬送時間平均25.6分 → 開通後 緊急搬送時間平均23.1分]

■事故 地域住民の安全性を確保

- ・利用者の約9割が安全性の向上を実感し、死傷事故件数も約6割減少

■物流 物流活動の効率化・安定化を支援

- ・開通区間を利用した所要時間が約3分短縮、急減速発生頻度約7割減少

■日常生活 沿線住民が日常生活において開通効果を実感

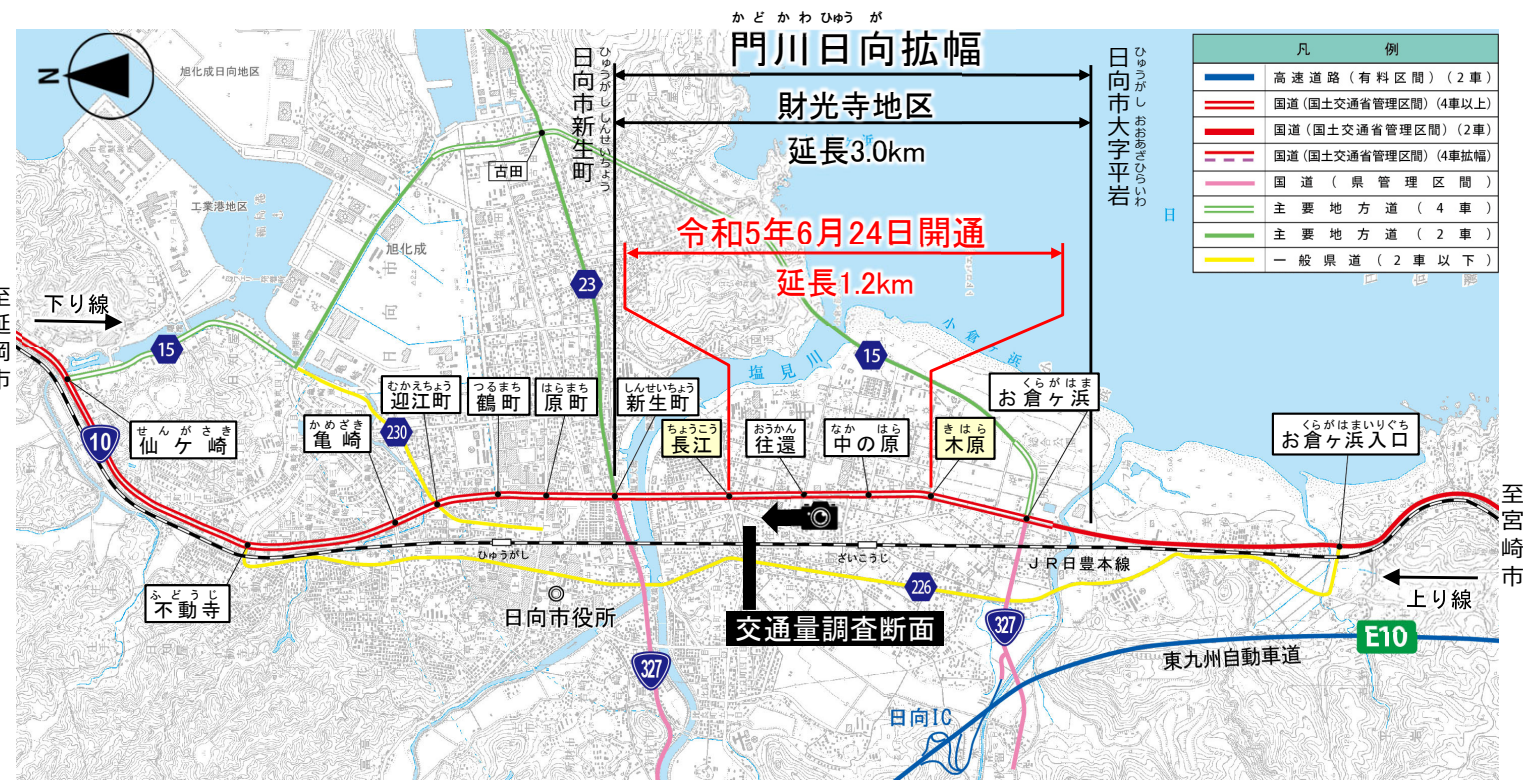
- ・利用者の約9割が開通効果を実感 ⇒ 開通区間の交差点で渋滞が解消！

【問い合わせ先】

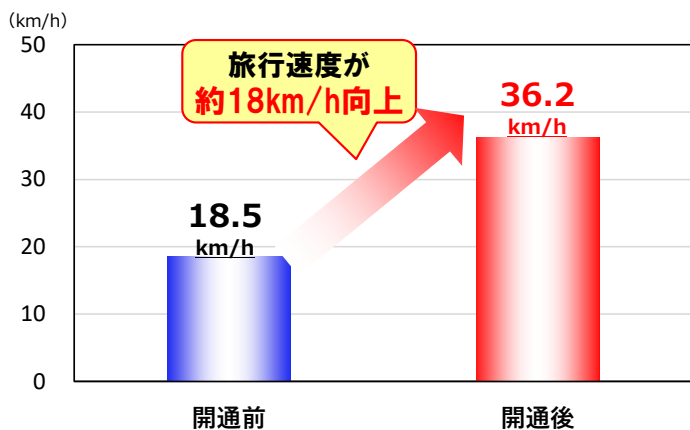
国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所
電話：0982-31-1155（代表）

技術副所長（道路）	内田 均 （うちだ ひとし）
計画課長	小堀 与一 （こぼり よいち）
事務所HP	http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/
事務所X	https://x.com/mlit_nobeoka

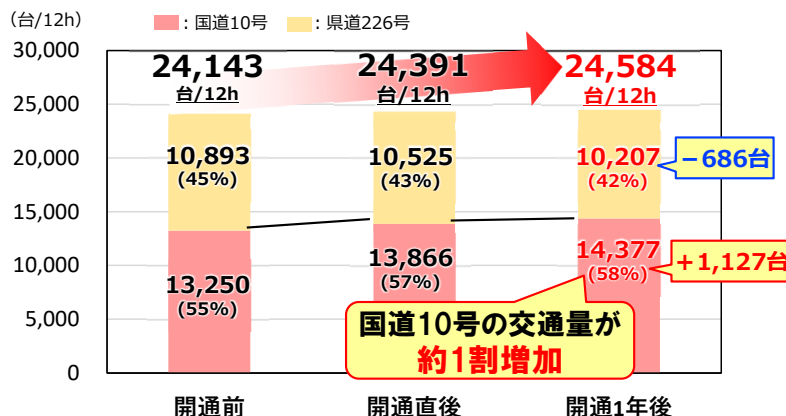
- 国道10号門川日向拡幅（長江～木原交差点間）の4車線化により、混雑時の旅行速度は約36km/hとなり、開通前と比較し約18km/h向上。
- 開通1年後の断面交通量は24,584台/12hであり、国道10号の交通量は県道226号から国道10号へ交通が転換したことで14,377台/12hとなり、約1割（約1100台）増加。



■開通区間の旅行速度変化



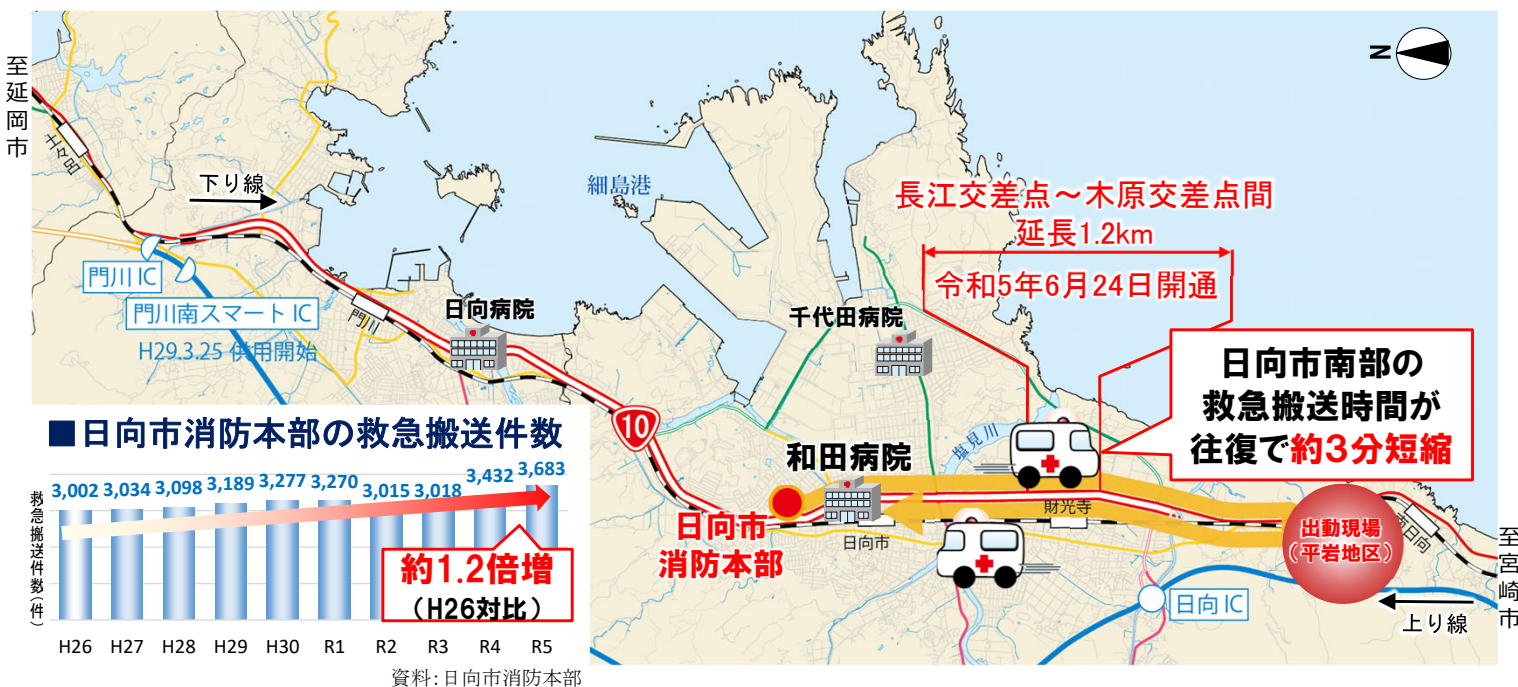
■開通区間の交通量変化



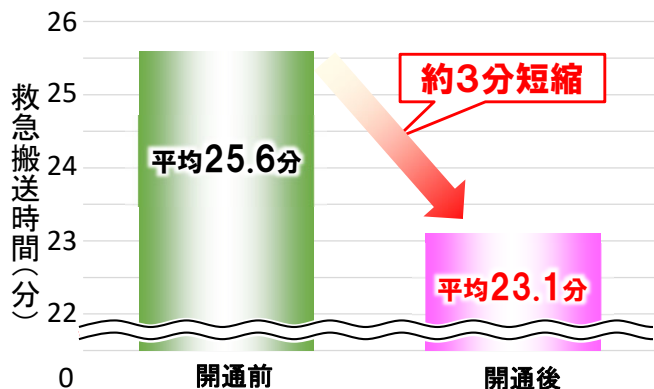
資料：ETC2.0プローブデータ(平日17時台) ※「長江～中の原」交差点の上り方向
開通前：R2.1～R2.12、開通後：R5.7～R6.5

資料：12時間（7～19時）交通量調査結果(上下線合計)
開通前：R5.3.9、開通直後：R5.6.27、開通1年後：R6.7.4
※県道226号松原町、国道10号長江・往還・中の原・木原交差点の調査結果を集計

- 日向市消防本部の救急搬送件数は増加傾向であり、救急搬送ルートとして国道10号の重要性が高まっている。
- 一方で2車線区間では、渋滞による搬送時間の遅れや追越し時の事故リスクがあり、救急医療活動に支障が出ていた。
- 門川日向拡幅の4車線化により、救急車両の円滑で安定した走行が可能となり、住民の安全・安心な生活の確保に寄与。



■ 開通区間を利用した救急搬送時間の変化

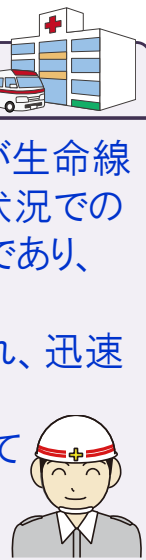


資料: 日向市消防本部※救急搬送データより算出(7-18時台に出動)
対象: 日向市消防本部～平岩地区～和田病院搬送時の移動時間
開通前: R4年6月1日～R5年6月23日(22件)
開通後: R5年6月25日～R6年5月31日(19件)

【関係者の声】～日向市消防本部～

- ・ 救急搬送のルートは、国道10号が生命線となっていますが、渋滞がひどい状況での車両の追い越しは大変かつ危険であり、搬送に時間を要していました。
- ・ 4車線化したことで渋滞が解消され、迅速かつ安定した搬送が可能となり、地域住民の安心の確保に繋がっています。

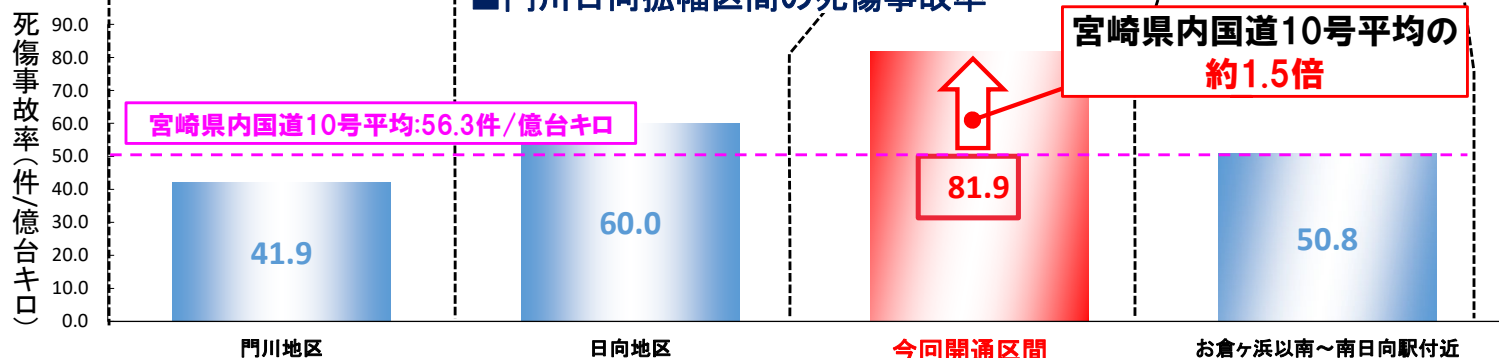
資料: 令和6年6月ヒアリング結果



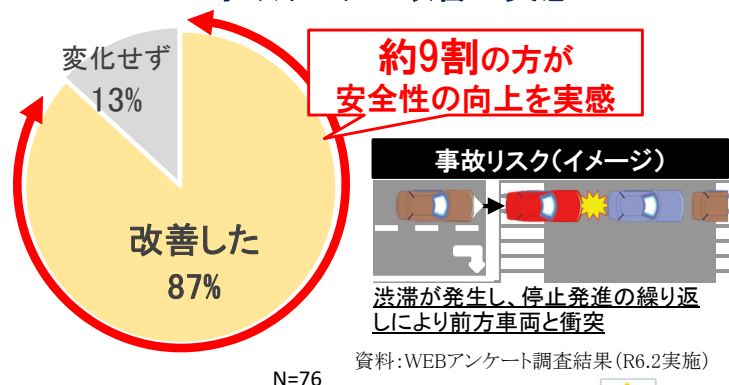
- 対象区間の死傷事故率は宮崎県内国道10号の平均と比較して約1.5倍と事故リスクが高い区間。
- 門川日向拡幅の4車線化により、事故要因の一つと想定される交通渋滞が緩和されたことで、利用者の約9割が事故リスクの解消を実感するなど、交通安全性が向上。



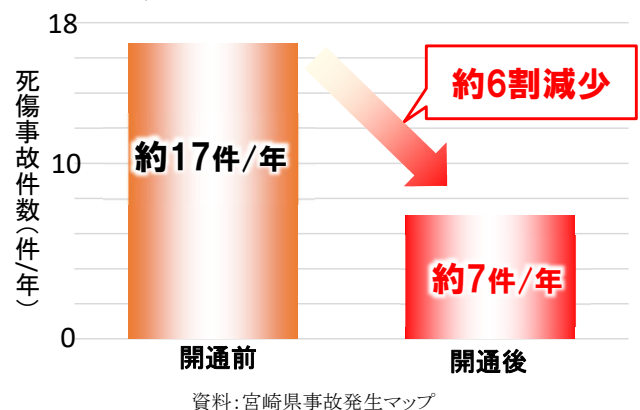
■門川日向拡幅区間の死傷事故率



■長江交差点～木原交差点間利用者の事故リスクの改善の実感



■長江～木原交差点間の事故件数



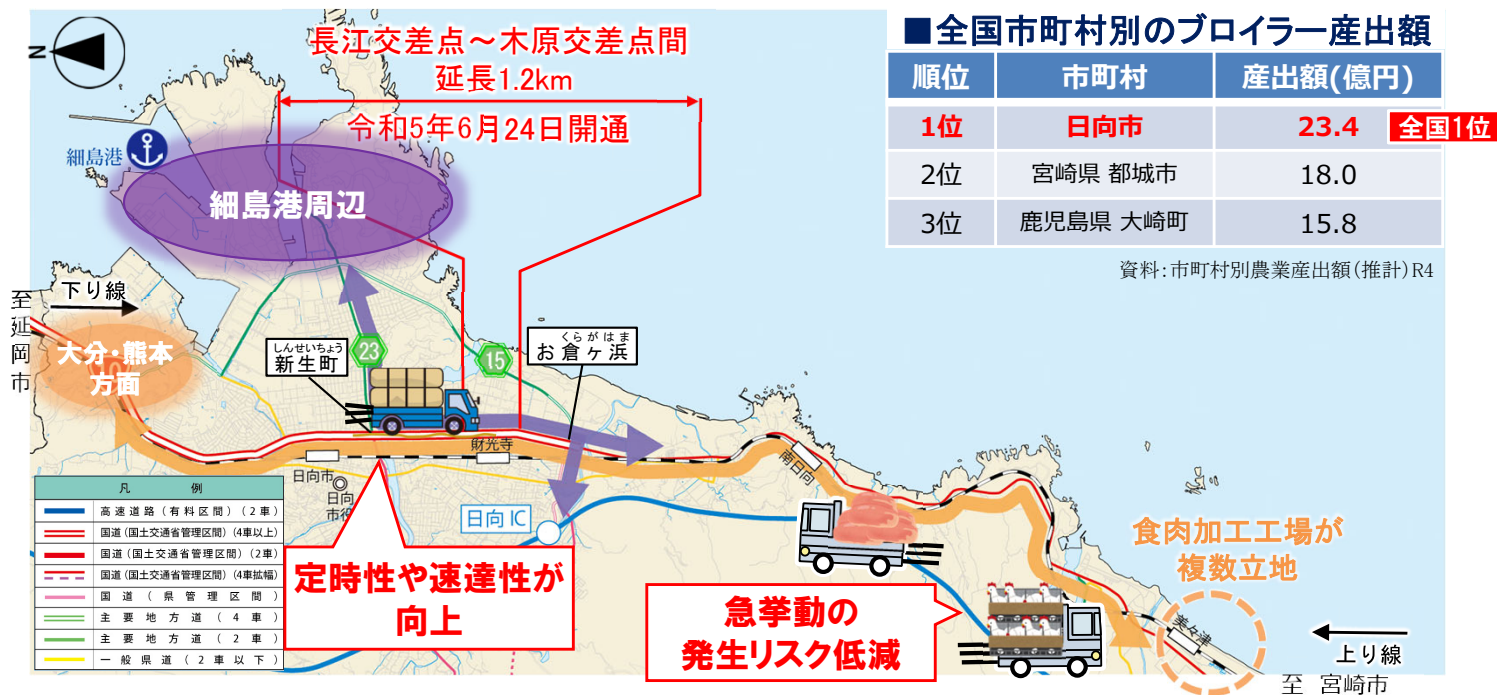
【関係者の声】～日向市警察署～

- ・ 国道10号では渋滞に起因すると想定される追突事故が多発していました。
- ・ 門川日向拡幅の開通により渋滞が解消されたことで、そのような事故の発生リスクが軽減したと思います。また、歩道も整備され歩行者の安全も確保されたと思います。



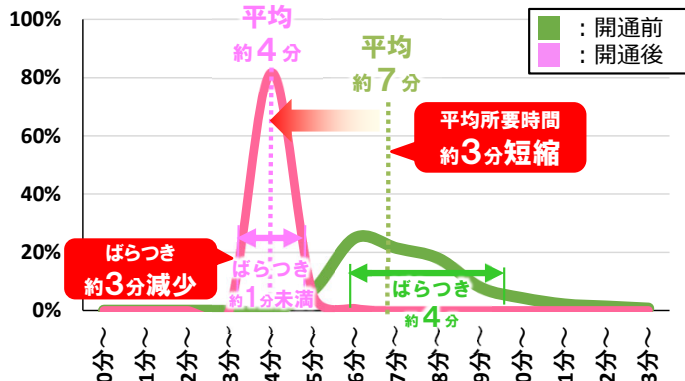
資料: 令和6年6月ヒアリング結果

- 重要港湾である「細島港」を介した港湾物流等において、門川日向拡幅の4車線化により速達性や定時性が確保されたことで、配送活動の効率化に寄与。
- また荷痛みや荷崩れの原因となる、渋滞時の加減速に伴う急挙動の発生リスクが低減したことで、配送活動の安定化に寄与。



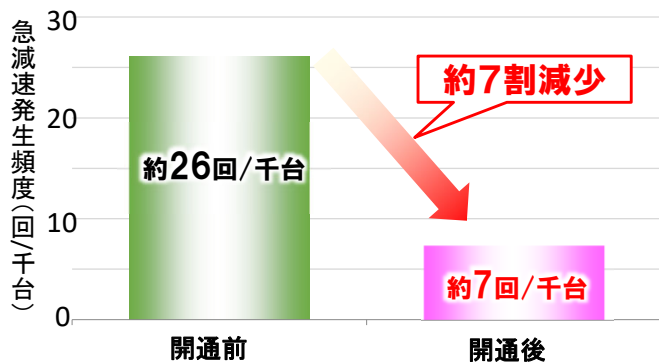
配送時の定時性や速達性が向上

■開通区間を利用した所要時間の変化



配送時の安定性が向上

■開通区間の急減速発生頻度の変化



【物流会社の声】

- 2024年問題によって、ドライバーの拘束時間が短くなるので、渋滞という観点が非常に問題でした。
- 開通後は渋滞緩和を実感しており、時間が読みやすくなることで、配送の効率化が図られ、時間に余裕ができたと感じています。

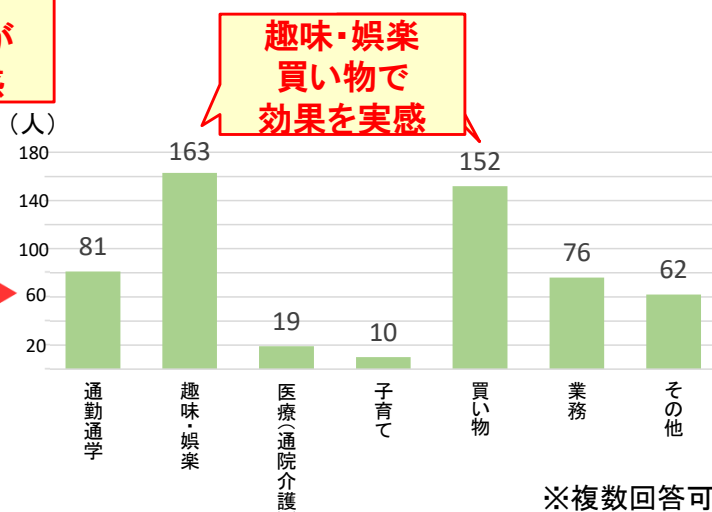
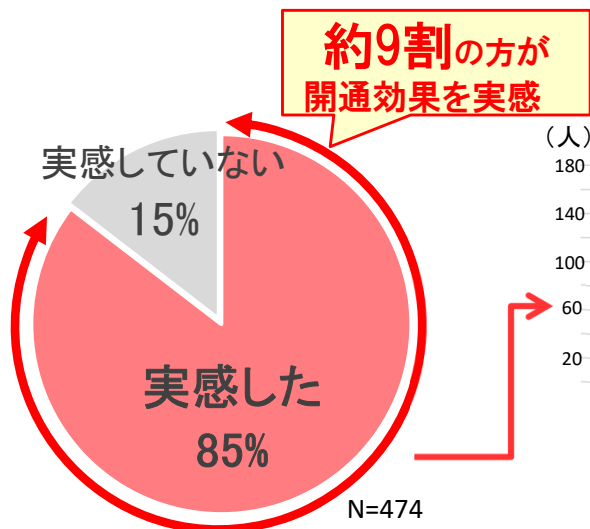
資料：令和6年6月ヒアリング結果

【食肉加工工場関係者の声】

- 原材料の鶏は生体輸送で毎日入荷し、その日の内に加工し出荷しています。
- 渋滞が緩和したことで、停止発進に伴う急減速のリスクも低減し、原材料の廃棄や製品が荷崩れ・荷傷みする心配が解消されました。

資料：令和6年6月ヒアリング結果

- 利用者の約9割が、国道10号門川日向拡幅（長江交差点～木原交差点間）の整備による開通効果を実感。
- 渋滞の解消や安全性の向上により、趣味・娯楽や買い物等で開通効果を実感。



■長江交差点～木原交差点間利用者の開通効果の実感有無

資料:WEBアンケート調査結果(R6.2実施)

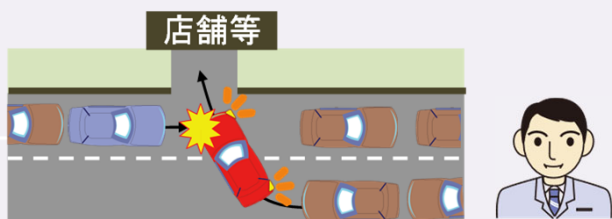
■開通効果を実感した場面

資料:WEBアンケート調査結果(R6.2実施)

買い物で開通効果を実感

【沿線住民の声】～日向市民～

- ・国道10号沿線の本屋等に立ち寄る際によく利用しており、開通後は渋滞によりストレスを感じなくなりました。
- ・また、混雑がなくなったことでお店の出入りで危険を感じる場面も少なくなりました



資料:WEBアンケート調査結果(R6.2実施)

趣味で開通効果を実感

【沿線住民の声】～門川町民～

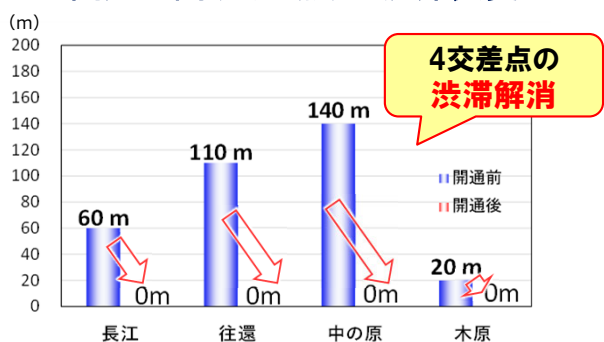
- ・自宅がある門川町から趣味のゴルフに行く際に国道10号を利用しており、日向ICから降りて自宅に帰る際に渋滞を避けるために、迂回していました。
- ・開通後は渋滞が解消されたことで、迂回せずに走りやすい国道を通り帰宅するようになりました。



資料:WEBアンケート調査結果(R6.2実施)

通勤で開通効果を実感

■開通区間(交差点)の渋滞長変化



資料:ピーク時間帯(7-9時・16-19時)渋滞長調査結果(最大値)
開通前:R5.3.9、開通後:R6.7.4

【沿線住民の声】～日向市民～

- ・日向市中心部へ通勤していますが、朝や夕方は渋滞がひどく、渋滞を避けて迂回することもありました。
- ・門川日向拡幅の開通により、渋滞が解消されたことで、国道10号でスムーズに移動できるようになり、通勤が快適になりました。



資料:WEBアンケート調査結果(R6.2実施)